

ESG・主要な指標

積水ハウスグループはESG経営のリーディングカンパニーを目指す上で、主要な非財務指標(KPI等)を設定し、進捗を確認しながらPDCAサイクルを回すことにより、活動のブラッシュアップを図っています。

下記を含む詳細なESGデータはWEBサイトで公開しています。 <https://2c.sekisuihouse.jp/xs9q>

E 環境

重要テーマ	指標	単位	2015年実績	2016年実績	2017年実績	2018年実績	2019年			2020年目標	2022年目標
							目標	実績	評価		
脱炭素社会	グリーンファースト ゼロ比率※1	%	71%	74%	76%	79%	80%	87%	◎	88%	90%
	事業活動からのCO ₂ 排出削減率※2	%	8.6%	13.0%	16.0%	21.5%	23%	27.4%	◎	29%	34%
	新築住宅からのCO ₂ 排出削減率※3	%	21.3%	27.7%	36.1%	38.1%	39%	41.6%	◎	42%	43%
	「卒FIT」購入電力割合※4	%	-	-	-	-	1%	1%	○	6%	15%
人と自然の共生社会	持続可能な木材調達比率※5	%	92.7%	92.6%	91.9%	93.6%	95%	95.3%	○	95.5%	96%
	生態系に配慮した植栽※6	万本	1199	1306	1409	1502	1600	1611	○	1700	1900
資源循環社会	廃棄物比率(新築)※7	%	5.2%	5.6%	5.5%	5.5%	-	5.8%	-	5.5%	5.2%
	廃棄物リサイクル率(新築)※8	%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	100%	100%
	廃棄物リサイクル率(アフター・リフォーム)※9	%	93.2%	94.0%	95.5%	94.9%	90%以上	94.3%	◎	90%以上	90%以上

※1 請負・分譲住宅におけるZEH相当住宅の比率(北海道以外)

※2 スコープ1,2:2030年度に50%削減(2013年度比)

2019年10月にグループ会社となった株式会社鴻池組からのCO₂排出量を含まない(現SBT目標のパウダリーにて記載)。

※3 スコープ3・カテゴリ11:新築戸建住宅・低層賃貸住宅からのCO₂排出量を2030年度に45%削減(2013年度比)

2019年10月にグループ会社となった株式会社鴻池組からのCO₂排出量を含まない(現SBT目標のパウダリーにて記載)。

※4 事業活動使用電力における比率(2040年度50%・2050年度100%)

※5 「木材調達ガイドライン」SおよびAランクの木材比率

※6 「5本の樹」計画に基づく植栽累積本数

※7 新築工業化住宅製品の生産原材料および資源投入量における廃棄物比率

※8 新築工業化住宅製品の廃棄物リサイクル率

※9 アフター・リフォーム工事などにおける廃棄物リサイクル率

2019年度バリューチェーンCO₂排出状況(スコープ1,2,3の概要)※1

スコープ1,2

スコープ1	使用した燃料に伴うCO ₂ 排出量	70,574 (t-CO ₂)
スコープ2	購入した電力と熱に伴うCO ₂ 排出量	50,808 (t-CO ₂)
スコープ1,2合計		121,382 (t-CO ₂)

スコープ3

カテゴリ11	販売した製品の使用[居住]	3,605,204 (t-CO ₂)
カテゴリ1	購入した物品サービス[原材料]	1,538,204 (t-CO ₂)
その他のカテゴリ	製品廃棄処理、事業廃棄物、輸送(上流)など※2	361,547 (t-CO ₂)
スコープ3合計		5,504,955 (t-CO ₂)
スコープ1,2,3合計		5,626,337 (t-CO ₂)

※1 2019年10月にグループ会社となった株式会社鴻池組からのCO₂排出量を含みません。

※2 カテゴリ12-販売した製品の廃棄後の処理[製品廃棄物]:151,742(t-CO₂)

カテゴリ2-資本財:50,740(t-CO₂)

カテゴリ3-スコープ12に含まれない燃料・エネルギー関連の活動:14,943(t-CO₂)

カテゴリ13-下流のリース資産:5,569(t-CO₂)

カテゴリ5-事業から発生する廃棄物[事業廃棄物]:97,508(t-CO₂)

カテゴリ4-上流の輸送・流通[輸送]:31,374(t-CO₂)

カテゴリ6-出張:7,251(t-CO₂)

カテゴリ7-従業員の通勤:2,420(t-CO₂)

S 社会

重要テーマ	指標	単位	2015年実績	2016年実績	2017年実績	2018年実績	2019年			2020年目標	2022年目標
							目標	実績	評価		
健康・長寿・豊かさの創出、バリューチェーンを通じた顧客満足の追求	お客様満足度※1	%	95.2%	95.5%	95.6%	95.8%	95%以上	95.9%	◎	95%以上	95%以上
	SDGs 調達カバー率	%	-	-	77%	80%	80%	76%	△	85%	90%
	SDGs 調達スコア	ポイント	-	-	85.0	86.2	82.2※2	86.7	◎	87.0	88.0
ダイバーシティの推進	女性管理職人数・比率	人(%)	114(2.43%)	141(2.79%)	158(2.94%)	176(3.10%)	185	206(3.44%)	◎	200	260
	女性正社員比率・人数	%(人)	23.6%(4954人)	24.2%(5142人)	25.0%(5431人)	25.7%(5657人)	-	26.4%(5930人)	-	27.0%	28.0%
	女性新卒採用比率・人数	%(人)	40.6%(276人)	41.6%(237人)	40.3%(266人)	37.7%(250人)	-	42.0%(281人)	-	41.6%	42.0%
	女性取締役人数(単体)	人	-	-	-	1※3	1人以上	1※3	○	1人以上	1人以上
	障がい者雇用率(単体)※4	%	2.21%	2.20%	2.38%	2.53%	2.55%	2.61%	◎	2.61%	2.61%※5
働き方改革	男性の育児休業取得率(単体)	%	23.0%	70.0%	95.0%	100%	100%	100%	○	100%	100%
	年次有給休暇取得率と取得日数	%(日)	32.8%(5.8日)	35.0%(6.2日)	39.7%(7.1日)	42.2%(7.4日)	-	56.1%(9.8日)	-	57%	60%
	1人当たり月平均総労働時間	時間	171.37	170.02	168.32	170.26	-	168.17	-	166.66	164
人材育成	業務上必要な主要資格 累積取得数※6	人(延べ)	18516	19588	20632	21516	-	22176	-	22300	22900
人権の尊重	ガバナンス意識調査スコア「パワハラを許さない風土」※7	ポイント	77.7	78.1	77.5	79.2	-	79.7	-	81.0	83.0
社会貢献活動	積水ハウスマッチングプログラム会員率	%	15%	16%	18%	21%	25%	25%	○	30%	40%

※1 入居後1年アンケートにおける「非常に満足」「満足」「まあ満足」の合計比率

※2 2019年度からスコアの評価基準を変更

※3 社外取締役1人に加え、社外監査役1人、執行役員1人により、女性役員は3人となります。

※4 除外率制度(建設業20%)に基づく算定

※5 グループ会社全体として、障がい者法定雇用数を達成する。

※6 一級建築士、二級建築士、1級各種施工管理技士、宅地建物取引士(合格)、FP技能検定(1・2・3級)

※7 毎年実施しているガバナンス意識調査の項目。表中の数値は「非常にそう思う：100点」「ほぼそう思う：75点」「あまりそう思わない：25点」「まったく思わない：0点」として計算した結果の平均値

G ガバナンス

重要テーマ	指標	単位	2015年実績	2016年実績	2017年実績	2018年実績	2019年			2020年目標	2022年目標
							目標	実績	評価		
コーポレートガバナンス体制の強化	ガバナンス意識調査スコア「職場風土」※1	ポイント	77.9	77.6	79.3	79.7	82.6	79.0	△	82.6	83.0
	同「コンプライアンス」※1	ポイント	81.3	81.1	82.9	82.7	86.1	81.9	△	86.1	87.0
	同「従業員満足度」※2	ポイント	80.8	80.6	82.0	82.0	82.5	81.5	△	82.0	83.0
コンプライアンス推進とリスクマネジメント	法令や自主的規範への重大な違反数	件	0	0	0	0	0	0	◎	0	0
労働安全衛生マネジメント	施工部門の休業災害度数率	-	2.42	2.57	1.89	2.42	2.18	2.92	△	2.63	2.13
	施工部門の業務上疾病度数率	-	0.14	0.34	0.20	0.63	0.57	0.43	○	0.39	0.31

※1 毎年実施しているガバナンス意識調査の調査項目のうち、風通しの良い職場風土づくりの指標となる項目。

表中の数値は「非常にそう思う：100点」「ほぼそう思う：75点」「あまりそう思わない：25点」「まったく思わない：0点」として計算した結果の平均値

※2 ガバナンス意識調査の全項目の平均値。計算方法は※1と同じです。